

またたくる**災害** もしもの**備え**を

平成29年度石巻市総合防災訓練

「まず逃げる」行動を確認 各地で避難生活の訓練も

「またたくる災害もしもの備え」をスローガンに平成29年度石巻市総合防災訓練が11月5日(日)、市内全域で実施され、2万1,761人が参加しました。ステージ1は市内全域共通で、震度6強の大地震発生により、大津波警報が発表され、避難指示が発令されたとの想定で避難訓練を行いました。ステージ2は、各地の自主防災会や学校が企画した避難者カード記入や救急救命、マンホールトイレ設置などの訓練に取り組み、市民一人一人が自助・共助の意識を心に刻みました。



①



②



③



④



⑤

万石浦小学校

- ①防災頭巾をかぶって校庭に一時避難した児童たちは、大津波警報の発表を受けて、避難してきた住民らと共に校舎内へ垂直避難を実施。教室内では点呼と顔色のチェックをしました。
- ②被災者救助を想定した県防災ヘリによる搬送訓練。
- ③石巻東消防署、消防団による消火訓練。
- ④上級生は消火のためのバケツリレーを練習。
- ⑤自衛隊による炊き出しの試食は体の温まる芋煮。

飯野川中学校



①



②

- ①中学生も地域住民と一緒に心肺蘇生法を訓練。
- ②濃煙道体験訓練では、低い姿勢で煙を吸い込まないように進むことを確認。

門脇地区

- ①復興住宅内に保管している毛布、簡易トイレ、担架などの非常時用品を確認。実際に設置、使用してみて有事に備えました。
- ②マンホールに汚物を流すマンホールトイレの設置訓練。



①



②

渡波中学校



①



②

- ①新校舎での初の防災訓練には、多くの住民が参加して避難経路などを確認。
- ②受付で避難者カードの記入の後、住民と生徒たちが協力して避難所運営の訓練を実施。